

1933年に国際連盟を脱退、孤立した戦時下の日本において、
 仏教者たちは欧米、アジア諸国の仏教者との連携を模索し続けた——
 戦時下「日本仏教」が試みた国際的連携の実態を検証し、
 現代における宗教間対話、平和運動へと架橋する、はじめての試み!

論集 戦時下

「日本仏教」の 国際交流

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書11

中西直樹・大澤広嗣 編著
 Naoki Nakanishi / Koji Osawa

定価: 本体5,800円+税
 体裁: A5判/上製/296頁
 ISBN978-4-8350-8266-0 C3021

本書の構成

第I部 「論考」

- 第一章「戦前期における仏教国際大会の変遷」(中西直樹)
- 第二章「一九四〇年のオリンピック・万国博覧会と仏教界」(大澤広嗣)
- 第三章「日本における仏教者の国際大会と太虚」(野世英水)
- 第四章「異なる仏教と国際化の虚妄」(林行夫)
- 第五章「真言宗喇嘛教研究所の組織と活動」(大澤広嗣)

第II部 「各誌総目次」

海外仏教事情/南方仏教青年会会報/国際仏教通報
 日華仏教/支那宗教事情/東亜宗教事情/青年信徒
 (詳細は裏面目次参照)

普陀宗乘之廟全景
 (中国河北省)



2019年
12月
新刊!!



第I部は中西直樹、大澤広嗣、野世英水、林行夫らによる論考を、そして第II部には『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流』全V期・全10巻に復刻した7誌の総目次を収録する。

……日本が戦争に直面していた戦時下には、諸宗派を挙げて仏教の国際交流への積極的な事業展開がなされ、大がかりな国際仏教大会も開かれていた。特に一九三三(昭和八)年二月、国際連盟を脱退した日本は、やがて出口の見えない戦争へと突き進んでいった。国際的に孤立し戦火が広がるなかで、日本仏教の関係者たちは、欧米の仏教者・研究者との連絡の緊密化を図り、アジア諸国の仏教勢力との連携・提携を模索した。その事業は、外務省や文部省、軍部からの支援を受け、基本的に国策に順応する方向性を有しており、アジア各地の仏教勢力を「大東亜共栄圏」建設に駆り立てていく役割を担う側面があったこ

とも否定できない。しかし、広範囲かつ大規模に及ぶその事業には、さまざまな立場の人物が関わり、その活動も多様な側面を有していた。今日、日本仏教の国際交流の低調な背景には、戦時下での国際交流の挫折と無力感、アジア諸国への罪悪感が影を落としているのかもしれない。しかし、世界平和や宗教間対話に日本仏教がどのように貢献できるのかを考え、日本仏教の国際化のあり方を再確認する上で、戦時下の日本仏教の試みを検証することは重要である……

(本書「はしがき」中西直樹より)

戦時下における「日本仏教」の試みは、いかなるものであったか——

はしがき（中西直樹）

第Ⅰ部 論考 戦時下「日本仏教」の国際交流

第一章 戦前期における仏教国際大会の変遷（中西直樹）

はじめに／北米仏教会と桑港世界仏教大会
米国大統領への陳情と日本仏教の課題
中国布教権問題と仏教連合会／中国仏教界の動向
東亜仏教大会の開催／東亜仏教大会の反響とその後
ハワイ日系コミュニティと本願寺派開教区

第一回汎太平洋仏教青年大会の開催／汎太平洋仏教青年会連盟結成の意義
世界宗教学平和大会の構想と国際仏教協会／第二回汎太平洋仏教青年会大会の開催
第二回汎太平洋仏教青年会大会の成果／日華仏教研究会と日華仏教学会
日中仏教交流の破綻／第三回大会開催をめぐる葛藤／大東亜仏教青年会の開催
おわりに

第二章 一九四〇年のオリンピック・万国博覧会と仏教界（大澤広嗣）

はじめに／大谷尊由によるオリンピックでの大鐘設置
協賛事業としての仏教の国際大会／仏教連合会による仏教館設置の要望
仏舍利塔の計画／おわりに

第三章 日本における仏教者の国際大会と太虚（野世英水）

はじめに／太虚のはじめての訪日／東亜仏教大会と太虚
第二回汎太平洋仏教青年会大会と太虚／おわりに

第四章 異なる仏教と国際化の虚妄（林 行夫）

はじめに／異文化としての海外／国際会議と宗派仏教／国際化の取り組みと非常時
アジアへの「日本仏教」の布教／大乘仏教の世界進出という幻影
幻影の自壊と宗派仏教と異世界の仏教

第五章 真言宗喇嘛教研究所の組織と活動（大澤広嗣）

はじめに／ラマ教と施策をめぐる時代背景／日本軍による内蒙古の分離
合同真言宗の興亜事業／真言宗喇嘛教研究所の活動／大正大学での河口慧海の門下生
高野山への研究所移転／おわりに

第Ⅱ部 各誌総目次

『海外仏教事情』／『南方仏教青年会会報』／『国際仏教通報』／『日華仏教』
『支那宗教事情』／『東亜宗教事情』／『青年仏徒』／収録内容一覧

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書刊行の辞（楠淳澄）

編著者

中西直樹（なかにし なおき）

一九六一年生まれ。
龍谷大学文学部教授、仏教史学専攻

大澤広嗣（おおさわ こうじ）

一九七六年生まれ。文化庁宗務課専門職、宗教学専攻

執筆者

野世英水（のせ えいすい）

一九五七年生まれ。
龍谷大学アジア仏教文化研究センター研究協力者、真宗学専攻

林 行夫（はやし ゆきお）

一九五五年生まれ。龍谷大学文学部教授、文化人類学専攻

注文カード

帖合・書店名

注文数

冊

不二出版 ● 発行 中西直樹 大澤広嗣 ● 編著

論集 戦時下「日本仏教」の国際交流

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書11

定価 ● 本体五、八〇〇円＋税 ISBN978-4-8350-8266-0

お名前

電話番号

注文 年 月 日



写真右

第2回太平洋仏教青年会大会開催を告知するポスター（全日本仏教青年会連盟編「第二回太平洋仏教青年会大会記念」仏教写真通信社、1934年より）。

写真左

1932年11月、北平日本公使館を訪れたパンチェンラマを囲んで（田中清純編・発行「依宗教日支親善」、1933年より）。

